

## 入選

### 水の大切さ

去年の終わり、僕の家の水を吸い上げるポンプが壊れてしまいトイレの水が流れなくなってしまう。年末で会社がほとんど休みなので部品が入るのがお正月が終わった一月四日になるといわれてしまいました。

それまでトイレはどうなるんだろうととても心配な気持ちになりました。せつかくのお正月なのにトイレが使えなかつたらどうしようと思いました。

そして、お父さんが業者さんに確認したところ非常用のレバーを使ってトイレを使うことを教えてもらいました。

けれど、いつもトイレが終わると自動で水が流れていたのが、トイレが終わってからトイレ脇のレバーを手でグルグル回して吸い取った後、ペットボトルにくんである水を流さなければなりませんでし

た。

夜とかトイレに行きたくなると、大変なのであまり飲み水とか飲まずに、トイレに行きたくなっても少しがまんしていました。

僕は、お正月にこの経験をして思ったことは、トイレだけで本当によかつたなと思いました。

もし、トイレだけでなく生活に使う台所やお風呂の水までも使えなくなってしまうたら家があってもお風呂も入れずご飯も作れずどこかに避難してお正月を迎えることになってしまったかもしれないと思うといつもあたり前に使っていた水の大切さがよくわかりました。

僕の家は、お米を作っていますが、よく五月の田植の前になるとおじいちゃんやおばあちゃんが田んぼに水がきているかどうか確認したり、雨があまり

降らないと今年の田植は大丈夫かなと話をしていた事を思い出しました。水は、いつもの生活でも使いますが毎日食べるお米を作るのにも大切な役目をしていることを考えることもできました。

雨が降らない年は、ダムの水がカラカラになってしまい田んぼにも水がなくなりせつかく苦労して植えたお米の苗もかれてしまいお米もとれなくなってしまうそうです。

僕は、雨の日だと外で遊んだりできなくなったりサッカーもできなくなってしまいうのがっかりする日もあります。雨が全て降らないと大変なことになってしまふんだと思いました。

そして、少し前におばあちゃんが、小学生が書いた新聞の記事を持ってきてくれました。

その内容は、その子のおじいちゃんはご飯を食べた後、おちゃわんを洗わずにそのままそのおちゃわんでお茶を飲んでいると書いてありました。その理由は、昔はお皿を洗う水も大切にしていたので一回食べるごとにお皿を洗わずにその中にお湯を入れてなるべく水も使わないようにするためだと書いてあ

りました。僕は、それを読んで昔の人は、水でも食べものでも、今よりも簡単に手に入らないので大切に、使っていたんだなあと思いました。

僕もこれからは、昔の人のようにはできないけれど今よりも水を出しっぱなしにしたりしないでもう少し大切に使おうと思いました。お正月に水が使えなくなってしまうって大変だったけれど、水の大切さや昔の人達の大変さを知ることができました。そして家の中だけでなく外でも水の大切さを忘れずに大事にしてむだな使い方をしないようにしようと思いました。